

桶川市 防災ガイド

保存版
平成31年4月

日頃からの
備えが大事へ!



行政		
市役所	泉1-3-28	☎048-786-3211
消防		
埼玉県中央消防本部 桶川消防署	北1-25-23	☎048-773-1190
埼玉県中央消防本部 桶川西分署	下日出谷528	☎048-788-0119
警察		
上尾警察署桶川駅前交番	南1-1-1	☎048-771-1114
上尾警察署坂田交番	坂田1503-7	☎048-728-4701
上尾警察署若宮交番	若宮1-4-24	☎048-787-3895
上尾警察署川田谷駐在所	川田谷2817-11	☎048-787-0010
救急告示病院		
埼玉県中央病院	坂田1726	☎048-776-0022

わが家の防災メモ

避難場所

集合場所

非常用持ち出し品・備蓄品

災害の被害を最小限にとどめるために、最低限必要なものを改めて確認し、電気・ガス・水道などのライフラインが止まっても3日間程度（推奨7日間）は自力で生活できるような備えをおきましょう。

非常用持ち出し品	備蓄品
<ul style="list-style-type: none"> 非常食（カンパン、缶詰など） 飲料水 携帯ラジオ（予備の電池） 懐中電灯（予備の電池・電球） スマートフォン/バッテリー ヘルメット（防災ずきん） ライター（マッチ） ナイフ、缶切り、栓抜き ティッシュ タオル 	<ul style="list-style-type: none"> ビニール袋 上着・下着 軍手 医薬品（牛ス薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など）、衛生用品 常備薬、お薬手帳 貴重品（預貯金通帳、印鑑など） 現金 健康保険証のコピー マイナンバーカード 簡易食器（わりばし、紙皿、紙コップなど） ラップ、アルミホイル ウェットティッシュ、トイレットペーパー、使い捨てカイロ、マスク、新聞紙、裁縫セットなど 簡易トイレ 予備のめがね、予備の補聴器など 工具類（ロープ、バールなど）

- ◆家庭環境によっては、上記のもの以外にも用意しなければならない場合があります。
 - 乳幼児がいる家庭の場合……ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつ、清浄綿、おんぶ紐、バスタオルまたはペーパータオル、ガーゼなど
 - 妊婦がいる家庭の場合……脱脂粉、ガーゼ、サラン、T字帯、清浄綿、新生児用品、ビニール風呂敷、母子手帳、新聞紙、石けんなど
 - 要介護者がいる家庭の場合……着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具などの予備、常備薬、お薬手帳など
- ◆埼玉県ホームページ「イッモ防災」の防災マニュアルブックなどにもわかりやすい備蓄方法などが紹介されていますので参考にしてください。

防災情報の入手

災害から身を守るには、関連情報をいち早く入手することが大切です。自ら積極的に情報収集を行い、いざという時に適切な自助・共助活動ができるよう努めましょう。

インターネット利用

桶川市ホームページ（防災）	https://www.city.okegawa.lg.jp/krush/anshin_anzen/bousai/index.html
気象庁ホームページ	https://www.jma.go.jp/jma/index.html
国土交通省 川の防災情報	http://www.river.go.jp/
【携帯サイト】	http://www.river.go.jp/
荒川上流河川事務所	http://www.ktr.mlit.go.jp/ara/jo/
利根川上流河川事務所	http://www.ktr.mlit.go.jp/tono/jo/

市では、おかげわ情報アプリ「おかげブッシュ」やSNS等でも防災情報を発信しています。

メール配信サービス

ご登録いただいたメールアドレスに対し、各種防災関連情報をお送りします。

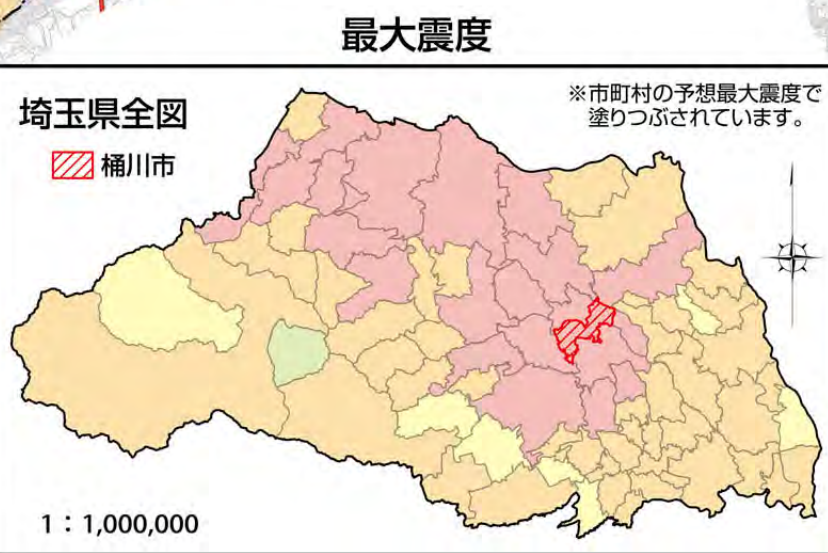
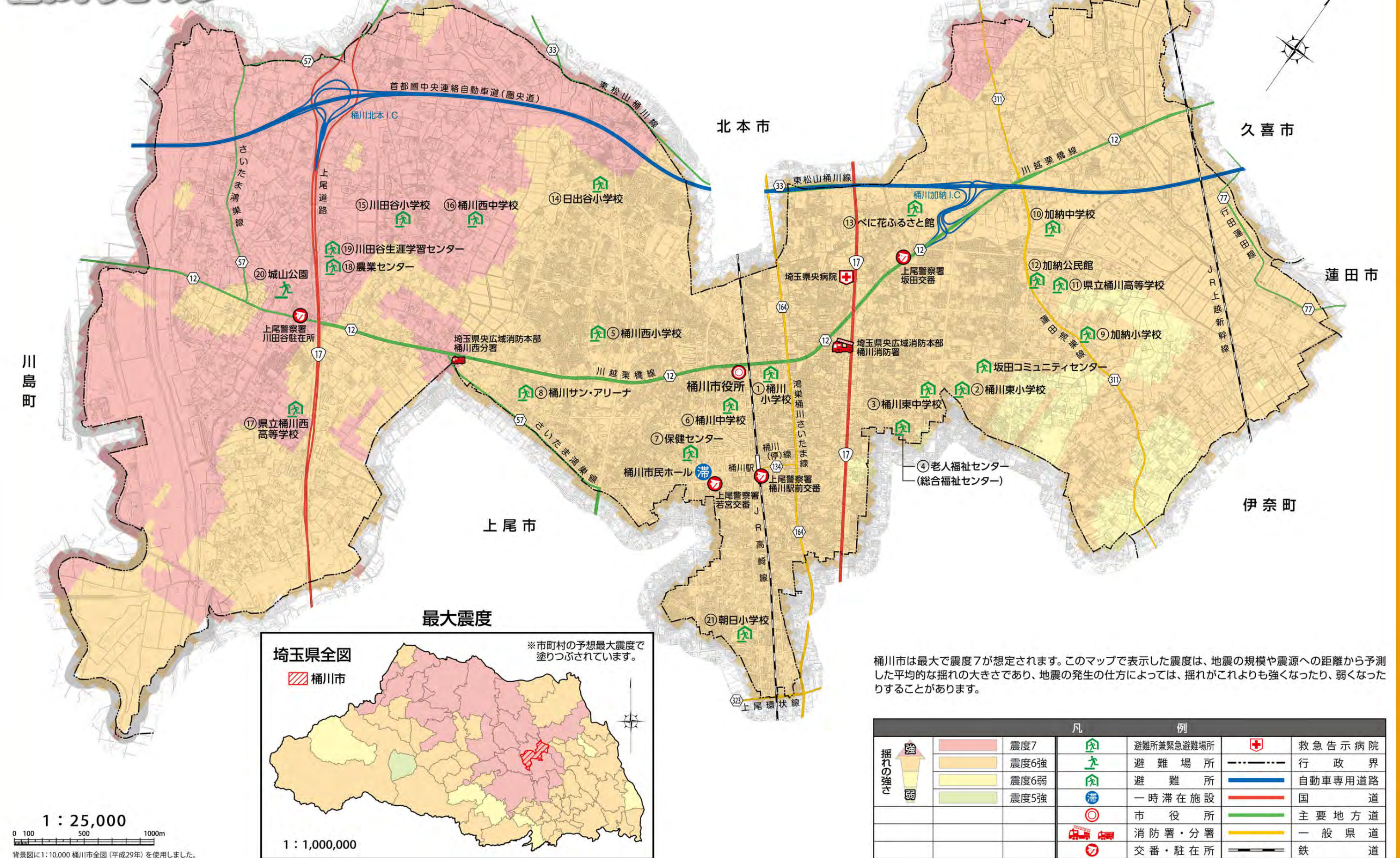
登録方法	埼玉県防災情報メール	桶川市防災情報メール
<p>【登録方法】①空メールを送信します。→②登録用アドレス記載のメールが返信されてきます。→③登録用アドレスにアクセスします。→④サイトの指示に従って登録したら完了です。</p>	<p>気象庁注意報、地震情報、竜巻注意報、土砂災害警戒情報、洪水予報、高温注意報、避難情報、避難所等情報、危機管理情報、埼玉県からのお知らせ</p>	<p>桶川市において発令された各種気象警報、桶川市の地震情報（震度4以上）、防災行政無線の放送内容（建物火災情報は除く）、国民保護情報、不審者情報など</p>

※桶川市防災情報メール・埼玉県防災情報メールは無料でご利用いただけます。メール受信に係る（ネット接続による）通信費用は利用者の負担となります。また、メールは、ネットワークの混雑状況や受信インフラの性質上、遅延や配信されない場合があります。

地震ハザードマップ

地震ハザードマップは、本市に大きな影響を及ぼすと考えられる地震を想定し、揺れやすさ（震度）及び液状化の可能性を予測したものです。この地震ハザードマップを参考として、お住まいの地域の状況をご確認いただき、日頃からの備えに役立ててください。

揺れやすさマップ



揺れやすさ	震度	避難所	避難所	救急告示病院
震度7	震度6強	一時滞在施設	消防署・分署	救急告示病院
震度6強	震度6弱	避難所	市役所	救急告示病院
震度6弱	震度5強	一時滞在施設	消防署・分署	救急告示病院
震度5強	震度5弱	避難所	交番・駐在所	救急告示病院
震度5弱		一時滞在施設	交番・駐在所	救急告示病院

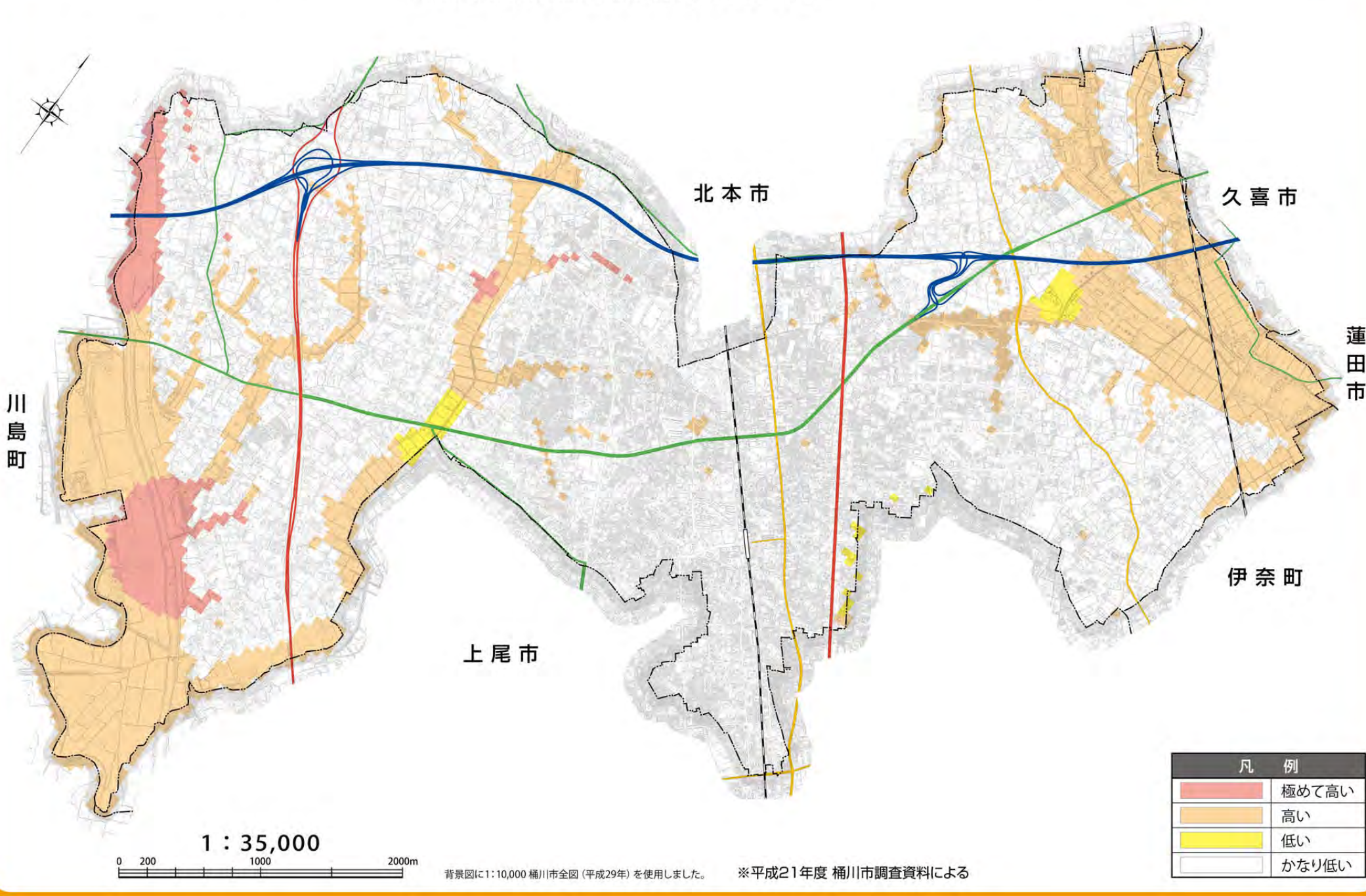
避難場所一覧

災害に遭遇した際、どこに避難をすればよいかご存じですか？いざという時にあわてないよう、自宅や働いている場所の近くにある避難場所を確認しておきましょう。

地区	番号	名称	避難所	所在地	電話番号(048)	備考
桶川北地区	①	桶川小学校	○	西1-4-27	771-1259	地区内活動拠点校
	②	桶川東小学校	○	坂田西1-7-1	728-3886	地区内活動拠点校
	③	桶川東中学校	○	末広3-19-28	728-4461	地区内活動拠点校
桶川東地区	④	老人福祉センター（総合福祉センター内）	○	末広2-8-29	728-1122	福祉避難所
	⑤	桶川西小学校	○	下日出谷836-1	786-3760	地区内活動拠点校
	⑥	桶川中学校	○	泉1-5-10	787-1311	地区内活動拠点校
	⑦	保健センター	○	鶴川11-4-1	786-1855	福祉避難所
	⑧	桶川サン・アリーナ	○	下日出谷西2-4-1	787-5111	指定広域避難場所
	⑨	加納小学校	○	坂田883	728-3533	地区内活動拠点校
加納地区	⑩	加納中学校	○	加納1279	728-3061	地区内活動拠点校
	⑪	県立桶川高等学校	○	坂田945	728-4421	地区内活動拠点校
	⑫	加納公民館	○	坂田982-5	728-1040	地区内活動拠点校
川田谷地区	⑬	花ふるさと館	○	加納419-1	729-1611	指定広域避難場所
	⑭	日出谷小学校	○	上日出谷885	786-2880	地区内活動拠点校
川田谷地区	⑮	川田谷小学校	○	川田谷4213	786-1335	地区内活動拠点校
	⑯	桶川西中学校	○	川田谷3680-1	787-1342	地区内活動拠点校
	⑰	県立桶川西高等学校	○	川田谷1531-2	787-0081	指定広域避難場所
	⑱	農業センター	○	川田谷4414	786-1200	指定広域避難場所
	⑲	川田谷生涯学習センター	○	川田谷4405-4	786-4030	指定広域避難場所
	⑳	城山公園	○	川田谷2839-11	786-5881	指定広域避難場所
朝日地区	㉑	朝日小学校	○	朝日218-1	771-3775	地区内活動拠点校
		避難場所以外の施設				
		桶川市民ホール	○	若宮1-5-9	789-1113	一時滞在施設
		坂田コミュニティセンター	○	坂田東2-3-1	776-9106	一時滞在施設

液状化可能性マップ

この液状化可能性マップは、それぞれの地域の地形・地盤の特性を考慮して、各地点の揺れやすさに基づいた液状化の可能性を評価し、取りまとめたものです。一般的に軟らかい砂層がある地盤は液状化しやすいです。なお、このマップで表示した液状化可能性は、得られた地盤情報に基づく予測値であり、実際には人工造成地などで局所的に発生することもあるため、液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。



震度階級

日頃から地震の被害をイメージし、いざという時に速やかな対応ができるよう、心がけておきましょう。

震度	被害の目安
4	【震度4】 <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの方が驚く。 電灯などのつり下がりが大きく揺れる。 座りの悪い家具が、倒れることがある。
5弱	【震度5弱】 <ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を感じ、物につかまひたいと感じる。 倒にある食器類や本などが落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものも揺れることがある。
5強	【震度5強】 <ul style="list-style-type: none"> 物につかまらないうちと歩くことが難しい。 倒にある食器類や本などが落ちることが多い。 固定していない家具が倒れることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものも揺れることがある。
6弱	【震度6弱】 <ul style="list-style-type: none"> 立てることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。
6強	【震度6強】 <ul style="list-style-type: none"> 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。
7	【震度7】 <ul style="list-style-type: none"> 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。 倒れている家具が倒れることがある。

地震発生時の行動

あわてずむやみに行動すると危険です。地震が発生したときは、まずは身の安全を確保し、地震速報や報道から正しい情報を得て、正確に状況を判断し、冷静な行動をとります。

自宅にいる場合

揺れを感じたら

安全確保行動!!

地震の揺れから身を守る
【3つの安全行動（シェイクアウト）】

Drop! Cover! Hold on!

揺れ方によっては机の下などにぐもれないこともあります。

【その瞬間】にできる最大限の安全策をとります。

震度1弱の地震では大半の人が恐怖を感じ、これ以上の震度になれば、身の安全を図ろうとしても、揺れによる足元のふらつきや恐怖による身体の硬直などで、平常時のような動作が行えない可能性があります。

また、揺れが起きた状況（階段の昇降中など）や、子どもや高齢者など足腰の弱い人は、震度が小さくても思わぬ怪我をすることがあります。

※上イラスト提供：防災的防災訓練と防災啓発推進会議

揺れがおさまったら

次の地震に備える
火を消して、避難路を確認する

安全確認・避難準備

- 火元を確認する。
- 玄関や窓を開けて出口を確認。窓や扉が開まらないように手近なものをおく。
- 声をかけて家族の安否を確認する。

状況確認・減災活動

- 近所の人や建物の状態を確認する。
- 正しい情報を確認する。
- 避難するときはガスの元栓を閉める。
- 電気のパレーカーを切る。
- 救出、救助、消火活動に参加する。

※強い揺れの継続時間は、阪神・淡路大震災では15秒程度、東日本大震災では長く続いた場所で190秒程度とされています。

外出先の場合

場所	揺れを感じたら	揺れがおさまったら
道路・路地	<ul style="list-style-type: none"> ●倒れる危険性のあるものから離れる ●落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する 	<ul style="list-style-type: none"> ●広い公園や耐震性の高いビルの中に避難する
繁華街 大きな建物	<ul style="list-style-type: none"> ●商品棚から離れ、柱や壁際に身を寄せる ●落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する 	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗では場内放送や係員の指示に従う ●最新のビルは耐震性が高いので、あわてて外には出ない
地下街	<ul style="list-style-type: none"> ●倒れる危険性のあるものから離れる ●柱や壁際に身を寄せる ●照明等の落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する 	<ul style="list-style-type: none"> ●館内放送や係員の指示に従い、一つの非常口に出る ●エレベーターは、非常用照明がつくのを待つ ●火災が発生しなければ比較的安全
エレベーター内	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての階のボタンを押し、停止した階ですぐに降りる ●自動的に最寄階に停止し、扉が開いたらすぐに降りる 	<ul style="list-style-type: none"> ●閉じ込められた場合は、インターホンで通報し、救助を待つ ●停電しても、すぐに非常用照明が点灯するのであわてない
運転中	<ul style="list-style-type: none"> ●状況により、震度4くらいから揺れを感じる人も ●徐々にスピードを落として、道路の左側に停車 ●エンジンが止まるとまですらに留まる 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難するときは、車のキーをつけたまま、ドアをロックせずに窓を閉める
電車・バス	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急停車・急ブレーキに備える ●座席に座っている場合は、低い姿勢をとり、頭を保護する ●立っている場合は、つり革や手すりをしっかり握る 	<ul style="list-style-type: none"> ●停車後は、乗務員の指示に従う ●車内から勝手には出ない

地震発生時 避難の注意点

あらかじめ避難場所や避難経路を確認しておき、家族や近所の人たちと声を掛け合い、安全に避難をしましょう。

●ご近所と声をかけ合いましょ

地震などにより、避難の必要がある時は、ご近所のみなさんと声をかけ合い、速やかに避難してください。

●電気やガスの元栓を締めましょ

避難の際には電気のパレーカーを切り、ガスの元栓を締めましょう。電気やガスが復旧した際に、火災の危険性があります。電話の受話器も戻しておきましょう。

●初期消火に協力を

天井に燃え移る前の火が小さい初期段階であれば、周囲の人に大声で知らせて協力し、初期消火機材や風呂の残り湯なども利用して消火できます。

●要配慮者への支援を

高齢者や体に不自由のある方、地震で怪我をされた方は、災害時に避難行動や生活などで困難な状況に置かれることが多いので、周囲の方々は積極的に支援・協力してください。

●徒歩で帰宅する際の心得

外出先で大地震が発生した場合は、「むやみに移動を開始しない」ことが前提ですが、むやみせず徒歩で帰宅する際は、以下の心得をもとに、適切な行動をとってください。

徒歩帰宅の心得7カ条 出典：埼玉県ホームページより

- 連絡手段、事前に家族に話し合い
- 携帯も、ラジオも必ず準備電池
- 日頃から、帰宅経路をシミュレーション
- 災害時の味方、帰宅支援ステーション
- 職場には、小さなリュックとスニーカー
- 帰宅前には、状況確認
- 助け合い、励まし合って徒歩帰宅

●安否情報を伝えましょ

家族や親戚等に、公衆電話やFAXなどで、安否や避難先を伝えましょう。NTTの災害用伝言ダイヤル【171】や携帯電話の災害用伝言板サービスも利用できます。

NTT災害用伝言ダイヤル 171

- 伝言の録音：【171】⇒【1】⇒被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル
- 伝言の再生：【171】⇒【2】⇒被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

携帯電話 災害用伝言板サービス

- NTTドコモ http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
- KDDI (au) http://dengon.ezweb.ne.jp
- ソフトバンクワイモバイル http://dengon.softbank.ne.jp

日頃から家族会議で話し合っておきましょう

日頃から家族会議を開き、家族が別々の場所で被災した時の連絡方法、集合場所、避難場所などを確認しておきましょう。

避難生活における配慮

- 高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、難病の方々などは体調が悪くならないように、スペースの確保・室温調整などに配慮しましょう。
- 外国人の方々はわかりやすい情報提供が必要です。
- 女性の方々には、更衣室・授乳室・トイレなど特別なプライバシーへの配慮が必要です。
- 子どもには、のびやかな生活が送れなくなることからくるストレスに注意する必要があります。
- ペットを連れて避難する方は、避難所の受入れ条件や生活ルールに従い、エサや排泄物などの世話は飼い主の責任です。